

整形外科リハビリテーション 第21回学術集会

参加者：理学療法士（発表者） 渡辺 裕介
健康運動指導士 野中 岳

今回、H24年9月22日に愛知県名古屋市にある東別院ホールで開催された、「整形外科リハビリテーション 第21回学術集会プログラム」に参加してきました。

理学療法士主催の学会であり、「スポーツ障害」「膝拘縮」「膝疼痛」「足・足関節」「下腿・アキレス腱」「股関節」の大きく分けて6セッション22題目の発表が行われました。

各セッションの前には、座長による各発表の簡単な説明や要点、見所を説明されました。その為、スライド発表時に要点が理解しやすかったです。

各セッションについては以下の通りです。

第1セッション 「スポーツ障害」

このセッションでは、渡辺PTが発表しました。他に、野球や陸上、ボート競技者を症例とした各々の障害部位に対する発表が行われました。「スポーツ障害」をテーマとしている為、当院でも経験し得る内容であり、今後の参考にさせていただきました。

第2セッション 「膝拘縮」

このセッションでは、半月板縫合や膝蓋骨骨折、化膿性関節炎術後の膝関節拘縮について発表が行われ、その原因の調査に超音波画像診断が用いられていました。それに対する質疑応答を聞くことができました。

第3セッション 「膝疼痛」

このセッションでは、弓道中における弓射時や人工関節置換術後における膝の痛みについて発表が行われました。各発表においてそれぞれ特有の疼痛対策が施行されており、症例に合わせて柔軟な運動療法を選択していく必要があると感じました。

第4セクション 「足・足関節」

このセクションでは、足関節の内反捻挫や足関節骨折についての発表が行われました。内反捻挫は当院でもよく経験する症例であった為、今回の症例のリハビリテーションプログラムを今後のリハビリテーションの参考にしてみようと感じました。また、その他に、外傷による下腿前方の筋欠損を伴った下腿開放骨折に関しての症例も発表され、普段経験することのない症例を知ることができました。

第5セクション 「下腿・アキレス腱」

このセクションでは、アキレス腱断裂や腓腹筋内側頭の筋挫傷について発表が行われました。個人的に注目していた筋挫傷の症例発表ですが、テーピングやセラバンドを使用したリハビリテーションが説明され、質疑応答の際に今症例に対するアドバイス等もあり、今後のリハビリテーションに活かしていきたいと思えます。

第6セクション 「股関節」

このセクションでは、変形性股関節症や人工骨頭置換術の症例について発表が行われました。特に最後に発表された術式の違いによる歩行獲得とADLへの影響という発表では、発表後も多くの質疑応答が繰り広げられていました。股関節という部位は、当院での手術はありませんが、他院で手術されてから膝の疾患で来院される方もいらっしゃる為、知っておかなければならない部位であると再確認できました。

全体を通して今学会では、各病院やクリニックで経験された一症例に対する発表が多かったように思えます。症例発表では、普段あまり目にすることのない症例について知ることができ、そういった症例に関して質疑応答が繰り広げられることにより、抄録やスライド発表からではわからなかった情報や考え方を聞くことができました。また、質疑応答の時間が比較的長い時間とられていたことにより、理学療法士同士や理学療法士と大学や専門学校の先生方の意見交換が活発に行われ、限られたセクション間の休み時間にも至る所で意見交換が行われていました。今後は、渡辺 PT、野中健康運動指導士とともに学会発表を行っていきたいと思えます。

今回このような学会に参加させていただく機会を与えていただいた院長をはじめ、スタッフの方々に感謝します。